

正月

正月は日本人にとって最も重要な行事です。1月から2月にかけて、県内でも様々な儀礼行事が行われます。

数々の正月行事は元日を中心とする大正月と、15日を中心とする小正月の二つに集中して行われています。大正月は、年神、年徳神、正月様などと呼ばれる神様を家に迎えて新たな年（魂）を貰う、「年取り」を中心とする儀礼が行われます。迎える場や迎え方、もてなし方、送り方などは、地域によって、あるいは家によって様々なかたちがみられます。新たな年（魂）は穀物の霊や普段使っている道具にも与えられると考えられていたので、これらにも餅など供え、お飾りをします。

小正月は、農作物の豊作祈願を中心とした行事が行われます。かつて、一年の始まりは、農耕開始時期である、春先の満月の日であったと考えられています。この時に、一年間の豊作豊饒を祈って、作の神を迎えたり、豊かな実りを再現した物を造って祝ったり、豊凶を占ったりなど、様々な儀礼行事が行われていました。しかし暦が浸透するにつれ、これらの行事は1月の満月の日である15日に移動していったと考えられています。



年徳棚

菊池市旭志麓 1989年撮影
35mm カラーポジ



サワギ

天草市本町 1975年撮影
35mm カラーポジ



臼飾り

上天草市松島町教良木 1986年撮影
35mm カラーポジ



葎飾り

菊池市旭志井利 撮影年不明
35mm カラーポジ



オニヒ

宇城市不知火町松合 1983年撮影
35mm カラーポジ



ドンドヤ

熊本市中央区本丸 1966 年撮影
35mm カラーポジ



ハナモチ

菊池郡大津町矢護川 1985 年撮影
35mm カラーポジ



シュンナメジヨ

球磨郡あさぎり町上 1976年撮影
35mm カラーポジ



ハラメンボウ

天草市本町 1979年撮影
35mm カラーポジ



ハナマンジュウ

天草市久玉町 1977年撮影
35mm カラーポジ



モグラウチ

熊本市池上町 1983年撮影
35mm カラーポジ



ニンギョウマワシ

八代市泉町仁田尾 1973年撮影
35mm カラーボジ



十五夜綱引き

菊池郡大津町大津 1984年撮影
35mm カラーボジ

山の神

山にいて、そこを支配すると信じられている存在を山の神と呼んでいます。その信仰は多種多様で、県内でも様々なかたちで祀られています。

狩猟や山樵、焼畑農耕など、山で働く人々は、山の神は常に山にいて木や生き物を支配していると考えていました。山に入る時や火入れの時などには、山の神に許しを得、作業の安全や豊猟、豊作を祈り、獲物が獲れた時は、恵みに感謝して供物を捧げました。

一方、山の神は田畑に豊饒をもたらす作の神だと考えているところもあります。天草地方では、旧11月初丑の日に赤飯、甘酒、カシの枝などを供えて皆で祭りを行い豊作の祈願と感謝を行います。八代・葦北・球磨地方では山の神は春に山から里に下りてきて田の神になり、秋に山に戻ると考えられていました。この地域では供物の供え方に特徴があり、竹を組んだ棚に、生の米で作ったシトギに小豆飯、カケグリに入れたお神酒、里芋、魚をあげるというのが多いようです。

その他、荒尾玉名地方には小岱山麓で操業されていたタタラ製鉄に係わる鉾山の神が祀られています。阿蘇・菊池地方では、牧の神・牛馬の守り神として信仰されています。



八代市坂本町小川内羽仁田

1982年撮影

35mm カラーポジ



八代市坂本町小川内羽仁田

1982年撮影

35mm カラーポジ



八代市坂本町小川内山口

1982 年撮影
35mm カラーポジ



球磨郡球磨村一勝地遠原

撮影年不明
35mm カラーポジ



球磨郡球磨村神瀬大岩

1977 年撮影
35mm カラーポジ



球磨郡球磨村神瀬部

1982年撮影

35mm カラーポジ



球磨郡球磨村神瀬部

1982年撮影

35mm カラーポジ



球磨郡水上村岩野五本松

1977年撮影

35mm カラーポジ



荒尾市府本

1971 年撮影
35mm モノクロネガ



菊池郡大津町古城

1984 年撮影
35mm モノクロネガ



天草市有明町楠甫

1975 年撮影
35mm モノクロネガ



天草市本町福岡

1976年撮影

35mmモノクロネガ

カワマツリ

県内では、田植えが終わった頃から夏の土用にかけて、各地の水辺で、カケグリという竹で作ったお酒入れやキュウリなどの夏野菜、そうめん、せんべい、魚の干物、藁で作った酒樽や藁ツトなどを笹竹に下げたものが見られます。この行事は、県内で一般的にカワマツリと呼ばれています。水の神である河童の好物を供えて、豊作を祈ったり、水遊びをする子どもたちに悪さをしないように祈るというもので、ムラ全体あるいはムラの中にある組単位で行われています。供え物を入れる藁製の容れ物が様々な形をしているのが特徴の一つです。

全国的には、夏の土用の時期に井戸や川の掃除をする、川や海に入り体を洗うといった習俗が見られますが、熊本では河童を祀る行事が行われているようです。また、県内ではカワマツリは農業用水や飲料用水にかかわる場所で行われることが多いのですが、天草地方では海辺で行事を行う所があります。葦北地方ではカワマツリを春秋彼岸に行いますが、こちらは春秋に田と山を行き来する河童を祀る行事として行われています。これらのことを含め、カワマツリは、まだ分からない所がたくさんある行事です。



山鹿市鹿本町分田

1973年撮影
35mmカラーポジ



菊池市今

撮影年不明
35mm カラーポジ



熊本市東区鹿帰瀬町

1981 年撮影

35mm カラーポジ



熊本市東区弓削町山尻

1976 年撮影

35mm カラーポジ



熊本市南区城南町永

1977 年撮影

35mm カラーポジ



上益城郡嘉島町上六嘉西村

1983年撮影
35mm カラーポジ



上益城郡御船町陣

19804 年撮影
35mm カラーポジ



上益城郡甲佐町吉田

1977 年撮影
35mm カラーポジ



上益城郡甲佐町辺場

1977年撮影
35mm カラーポジ



宇城市小川町本村

1979年撮影
35mm カラーポジ



宇城市小川町北海東大野

1977年撮影
35mm カラーポジ



天草郡苓北町富岡

**1976年撮影
35mm カラーポジ**

秋祭り

秋祭りは、五穀豊穡に感謝する大切な収穫祭で、田畑を見守っていた作神が山や天に帰るので、それを見送る祭りでもあります。その年の収穫物とお神酒などを供え、芸能などが奉納されます。

一口に収穫祭といっても、農作物、特に稲の収穫祭には初穂を少し刈って、田の角や家の柱、神棚などにあげる穂掛けから、稲刈り終了時の刈上げ祝い、脱穀終了時の扱上げ祝いなどがあります。秋祭りの日取りが、9月9・19・29日のオクンチや秋彼岸、10月の満月日、亥の子、11月満月日など様々なのは、土地によって収穫の時期が違うこともありますが、収穫作業のどの段階をもって作神が帰ると考えられていたかも影響していると思われます。

全国的に見ると、氏神社の秋祭りは11月に行われることが多く、霜月祭りとも呼ばれています。これは旧暦11月頃にすべての農作業が終わり、一年が終わると考えられていたためです。

県内の神社の秋祭りは10月15日前後に行われるところが多いようです。また、まちを練り歩く神幸行列を伴ったり、神楽、獅子舞、太鼓踊りと、様々な民俗芸能が奉納されます。



野原八幡宮例大祭

荒尾市野原 1979年撮影
35mm カラーポジ



藤崎八幡宮例大祭

熊本市中央区 1964年撮影
35mm カラーネガ



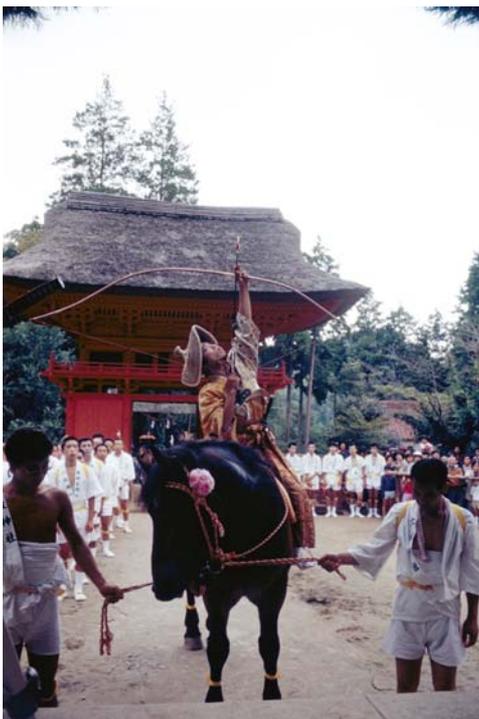
藤崎八幡宮例大祭

熊本市中央区 1964 年撮影
35mm カラーネガ



河尻神社例大祭

熊本市八幡南区 1982 年撮影
35mm カラーポジ



六殿宮大祭

熊本市南区富合町木原 1982 年撮影
35mm カラーポジ



おほし祭り

菊池郡菊陽町戸次 1978年撮影
35mm カラーポジ



八代神社秋季例大祭

八代市 1965年撮影
35mm カラーポジ



八代神社秋季例大祭

八代市 撮影年不明
35mm カラーポジ



日奈久温泉神社秋季例大祭
八代市日奈久 1969年撮影
35mm カラーポジ



青井阿蘇神社おくんち
人吉市中青井町 1971年撮影
35mm カラーポジ



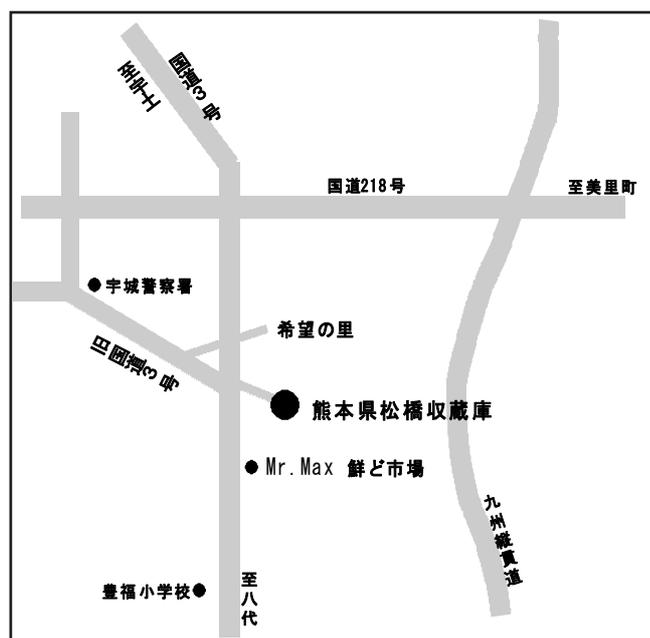
上八幡宮例大祭
上天草市大矢野町上 1982年撮影
35mm カラーポジ



産島八幡宮例祭

**天草市河浦町宮野河内 1971年撮影
35mm カラーポジ**

[熊本県松橋収蔵庫のご案内]



所在地：宇城市松橋町豊福 1695

電話：(0964)34-3301

Fax：(0964)34-3302

平成23年度熊本県松橋収蔵庫第4回企画展

熊本の祈りと感謝—民俗写真家の眼差し—
白石巖民俗写真展 I

編集・発行 熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課
熊本市中央区水前寺 6 - 1 8 - 1
(096)333-2155

発行日 平成24年4月1日
